



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東
コード番号 9723 URL <https://www.kyotohotel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井手 章 (TEL) 075(211)5111
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,305	46.4	320	—	283	—	280	—
2023年3月期第1四半期	1,575	109.0	△131	—	△35	—	△38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	22.42	—
2023年3月期第1四半期	△3.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,056	1,334	8.3
2023年3月期	16,078	1,094	6.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,334 百万円 2023年3月期 1,094 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	17.0	270	—	120	51.9	100	61.3	8.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	12,065,400株	2023年3月期	12,065,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	242株	2023年3月期	242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	12,065,158株	2023年3月期1Q	12,065,189株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40,000.00	40,000.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	40,000.00	40,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 重要事象等について	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類の引き下げに伴うサービス分野のリバウンド需要や、個人消費の増加などにより、景気は回復傾向にあります。しかしながらウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格の高騰や供給面での制約の影響により、先行きは不透明な状況が続いております。

京都のホテル業界におきましても、水際対策の緩和などによる訪日外国人観光客の増加や、飲食を伴う宴会の利用が増えつつあり、緩やかな回復傾向にあります。

当社では引き続きお客様の安心安全を第一に考え、宿泊・宴会・レストランなど各ご利用に合わせた感染予防ガイドラインに沿って運営を行うとともに、ホテル従業員及び関連スタッフに対して感染予防対策を徹底し、お客様に安心してホテルをご利用いただける環境づくりに努めてまいりました。

営業面におきましては、全国旅行支援や水際対策の緩和などの後押しを受け、宿泊・レストランを中心に売上を拡大させました。宴会部門においても、飲食を伴う宴会の利用が徐々に増えてまいりました。一方で、本年は創業135周年にあたり、プロジェクトチームを立ち上げ、様々な企画やイベントを実施しております。加えて、エネルギー・原材料価格の高騰に対応すべく販売価格の見直しを行うなど、売上・利益の最大化に努めてまいりました。

また、今後の需要回復を見据えて国内外へのセールス活動を再開したほか、人員不足が深刻化する中、部署の垣根を越えた社内ヘルプ体制を強化するとともに、業務の効率化・省力化を図る取り組みにも注力いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,305百万円(前年同期比730百万円増)、営業利益320百万円(前年同期は営業損失131百万円)、経常利益283百万円(前年同期は経常損失35百万円)、四半期純利益280百万円(前年同期は四半期純損失38百万円)となりました。

ホテルの部門別営業概況は次のとおりです。

(宿泊部門)

ホテルオークラ京都では、全国旅行支援や訪日外国人観光客の急激な増加等により、売上はコロナ禍前に近い状況まで回復いたしました。

からすま京都ホテルでは、外国人の団体旅行客や、引き続き修学旅行を中心に予約が堅調に回復しております。

この結果、宿泊部門の売上高は945百万円(前年同期比419百万円増)となりました。

(宴会部門)

ホテルオークラ京都では、新型コロナウイルスの感染症法上の分類の引き下げによる社会経済活動の回復等に伴い、飲食を伴う宴会が増え、件数自体はコロナ禍前と同水準まで回復いたしました。しかしながら現在でも従来に比べ少人数での開催が多い傾向であることから、室料等の引き上げによる利益確保に努めてまいりました。

からすま京都ホテルでも、業種を問わず、企業による会食を伴う宴会の開催が増加しており、売上は堅調に推移しております。

この結果、宴会部門の売上高は662百万円(前年同期比197百万円増)となりました。

(レストラン部門)

ホテルオークラ京都では、コロナ禍前より削減しておりました席数を従来に戻すことによる増席の影響や社会的なリバウンド需要等により、堅調に売上を伸ばしております。

からすま京都ホテルでは、中国料理レストランのランチ営業がコロナ禍前よりも好調に推移し売上が増加するなど、堅調に回復しております。

この結果、レストラン部門の売上高は565百万円(前年同期比100百万円増)となりました。

(その他部門)

テナント部門やホテルオークラ京都のフィットネスクラブなどの売上については、引き続き堅調に推移しております。

この結果、その他部門の売上高は131百万円(前年同期比13百万円増)となりました。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	945,556	41.0	+79.8
宴会部門	662,821	28.8	+42.4
レストラン部門	565,687	24.5	+21.5
その他部門	131,846	5.7	+11.6
合計	2,305,912	100.0	+46.4

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ22百万円減少し、16,056百万円となりました。

負債は、前事業年度末に比べ263百万円減少し、14,721百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ240百万円増加し、1,334百万円となり、自己資本比率は8.3%となりました。

なお、当社は一定の業績回復を見込んでおり、当事業年度におきましては、必要不可欠なメンテナンス工事を含む設備投資を計画的に検討、実施することといたしました。また、金融機関との良好な関係のもと、資金確保を確実に実行いたします。

(3) 重要事象等について

当第1四半期累計期間において当社は、2020年3月期以来の四半期純利益として280百万円を計上することができました。新型コロナウイルスの感染症法上の分類が「5類」に引き下げられるなどの影響で、前年同期に比して業績は大きく改善し、確実に回復基調に進んでおります。しかしながらロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴うエネルギー・原材料価格の高騰が続くなど、事業環境の不確実性は今なお残り、直近3期の営業損失が大きい状況にあるため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。ただし、当社では、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」の対応策を着実に実行していくことで、当面の資金繰りに懸念はないと判断しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました予想値をほぼ達成可能とみていることから修正は行っておりません。今後の経済状況や旅行客等の動向情報を収集した上で、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,305,746	2,605,061
売掛金	554,461	436,633
原材料及び貯蔵品	62,517	66,625
前払費用	44,165	32,671
その他	43,626	14,687
貸倒引当金	△378	△104
流動資産合計	3,010,140	3,155,576
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,711,471	7,560,722
構築物(純額)	15,443	15,098
機械装置及び運搬具(純額)	105,199	102,281
器具及び備品(純額)	190,074	181,957
土地	4,890,314	4,890,314
リース資産(純額)	27,199	22,061
有形固定資産合計	12,939,702	12,772,436
無形固定資産		
ソフトウェア	10,206	9,140
リース資産	7,986	5,752
電話加入権	4,284	4,197
商標権	54	41
無形固定資産合計	22,531	19,131
投資その他の資産		
投資有価証券	10,300	10,300
長期前払費用	8,746	6,590
前払年金費用	20,544	25,249
差入保証金	52,037	52,164
その他	14,630	14,630
投資その他の資産合計	106,258	108,933
固定資産合計	13,068,492	12,900,502
資産合計	16,078,632	16,056,079

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	128,739	140,207
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	448,000	448,000
リース債務	64,129	51,070
未払金	784,023	579,439
未払費用	78,242	114,415
未払法人税等	3,650	1,247
前受金	76,221	58,322
預り金	57,117	61,872
前受収益	43,782	40,025
賞与引当金	55,920	-
その他	27,660	32,801
流動負債合計	2,767,486	2,527,403
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	9,616,000	9,616,000
リース債務	24,686	17,522
長期末払金	46,988	26,876
長期預り保証金	521,928	524,584
繰延税金負債	7,088	8,710
固定負債合計	12,216,691	12,193,694
負債合計	14,984,177	14,721,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	25,000	25,000
その他資本剰余金	1,559,414	929,635
資本剰余金合計	1,584,414	954,635
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△589,778	280,526
利益剰余金合計	△589,778	280,526
自己株式	△180	△180
株主資本合計	1,094,455	1,334,981
純資産合計	1,094,455	1,334,981
負債純資産合計	16,078,632	16,056,079

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,575,004	2,305,912
売上原価	284,360	365,430
売上総利益	1,290,644	1,940,482
販売費及び一般管理費	1,422,197	1,619,691
営業利益又は営業損失(△)	△131,553	320,790
営業外収益		
補助金収入	130,376	-
利子補給金	5,041	2,493
受取手数料	698	805
基地局設置手数料	852	889
受取保険金	193	35
その他	2,363	1,774
営業外収益合計	139,525	5,998
営業外費用		
支払利息	39,878	40,292
支払手数料	2,412	2,394
その他	1,219	278
営業外費用合計	43,511	42,966
経常利益又は経常損失(△)	△35,539	283,822
特別損失		
固定資産除却損	194	425
特別損失合計	194	425
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△35,733	283,397
法人税、住民税及び事業税	1,247	1,247
法人税等調整額	1,711	1,622
法人税等合計	2,959	2,870
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,693	280,526

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。